



資源自律国家への夜明け： 南鳥島レアアース泥開発の全貌

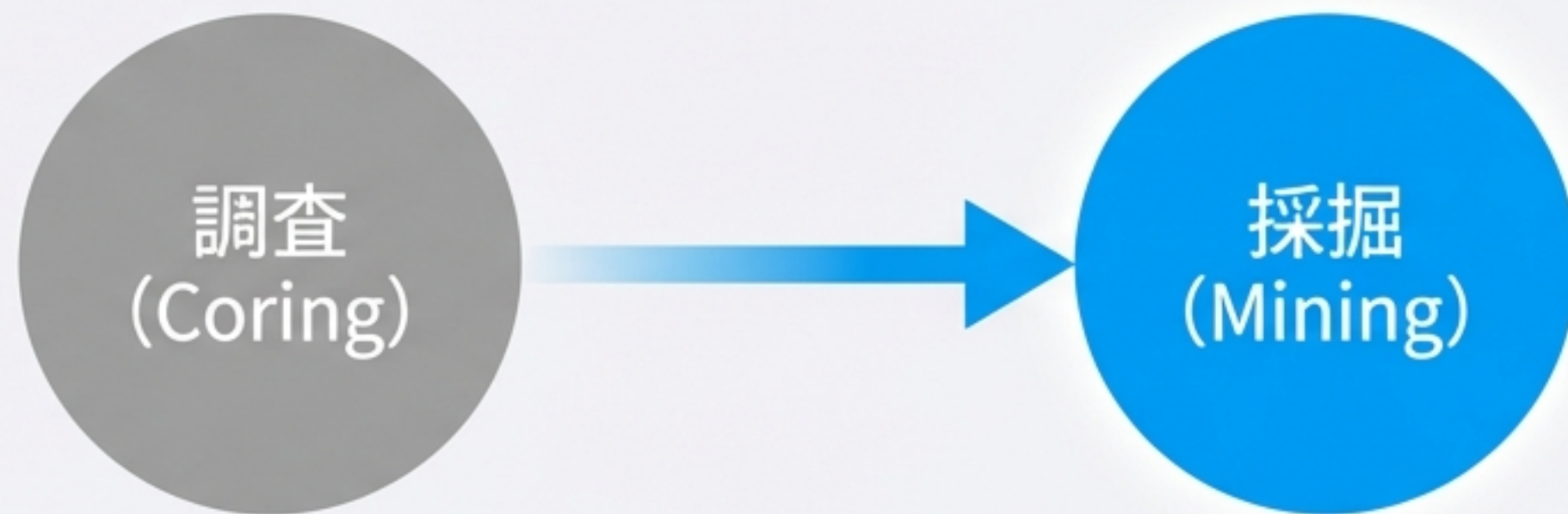
2026年揚泥成功がもたらす産業構造の転換と経済安全保障戦略

Strategic Briefing:
Post-February 2026 Breakthrough

2026年 2月2日

SIP/JAMSTEC
水深6,000m
連続揚泥成功

歴史的転換点。 「資源小国・日本」の終焉。



戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）とJAMSTECは、探査船「ちきゅう」を用い、南鳥島沖6,000mからのレアアース泥連続揚泥に成功しました。これは単なる科学実験の成功ではなく、研究フェーズから産業化フェーズへの完全な移行を意味します。日本のEV、防衛、再エネ産業のサプライチェーン革命が、今ここから始まります。

迫りくる「資源兵器化」のリスクと国家安全保障



❗ 脅威 (Threat)

中国によるレアアースおよび磁石製造装置への輸出管理強化（2025-2026年）。

⚠ リスク (Risk)

供給網断絶による自動車、ロボットなど主要産業の機能不全。

✅ 解決策 (Solution)

南鳥島資源による「抑止力」の獲得と、米国（トランプ政権）を含む西側諸国との連携強化。

数百年分の「安心」が眠る海。

数百年分相当

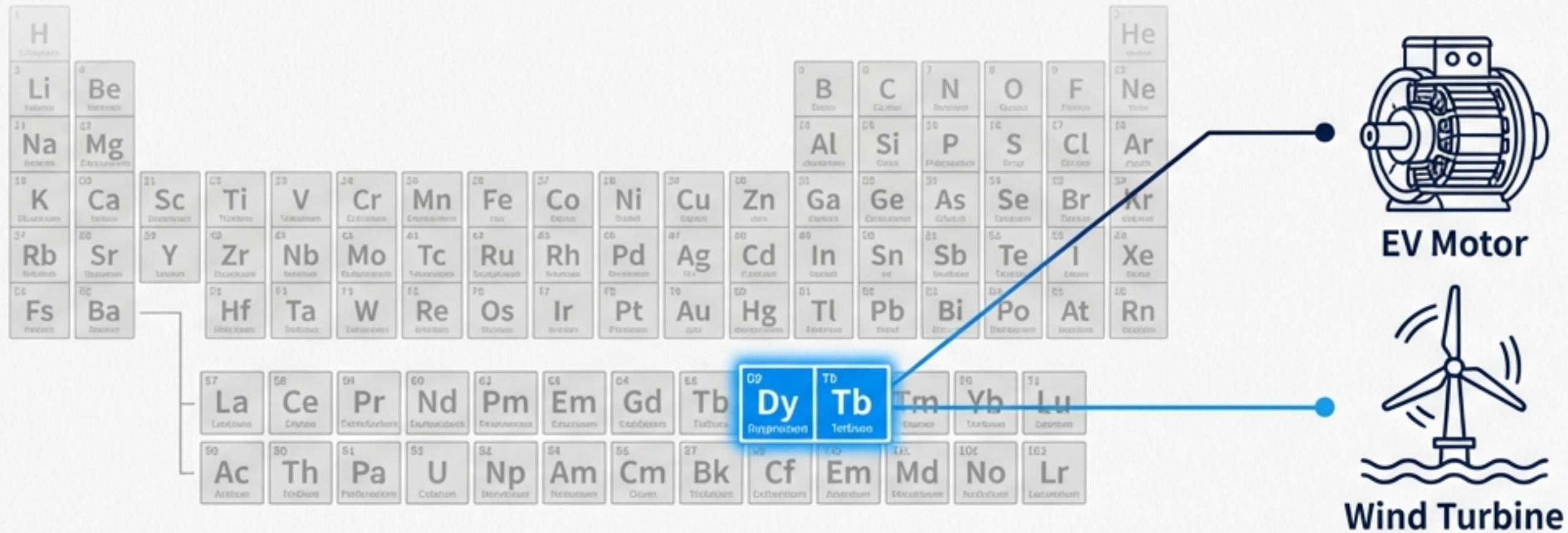
日本の年間消費量
(1 year)

南鳥島
埋蔵ポテンシャル

南鳥島EEZの海底には、日本の年間消費量の数百年分に相当する莫大なレアアースが眠っています。

この圧倒的なポテンシャルは、日本が「資源輸入国」から「資源輸出国」へと転換し、国富を恒久的に安定させる未来を示唆しています。

世界が羨む「重レアアース」の宝庫。



一般的な陸上鉱山

軽レアアース主体 (Ce, La)

供給過多

南鳥島レアアース泥

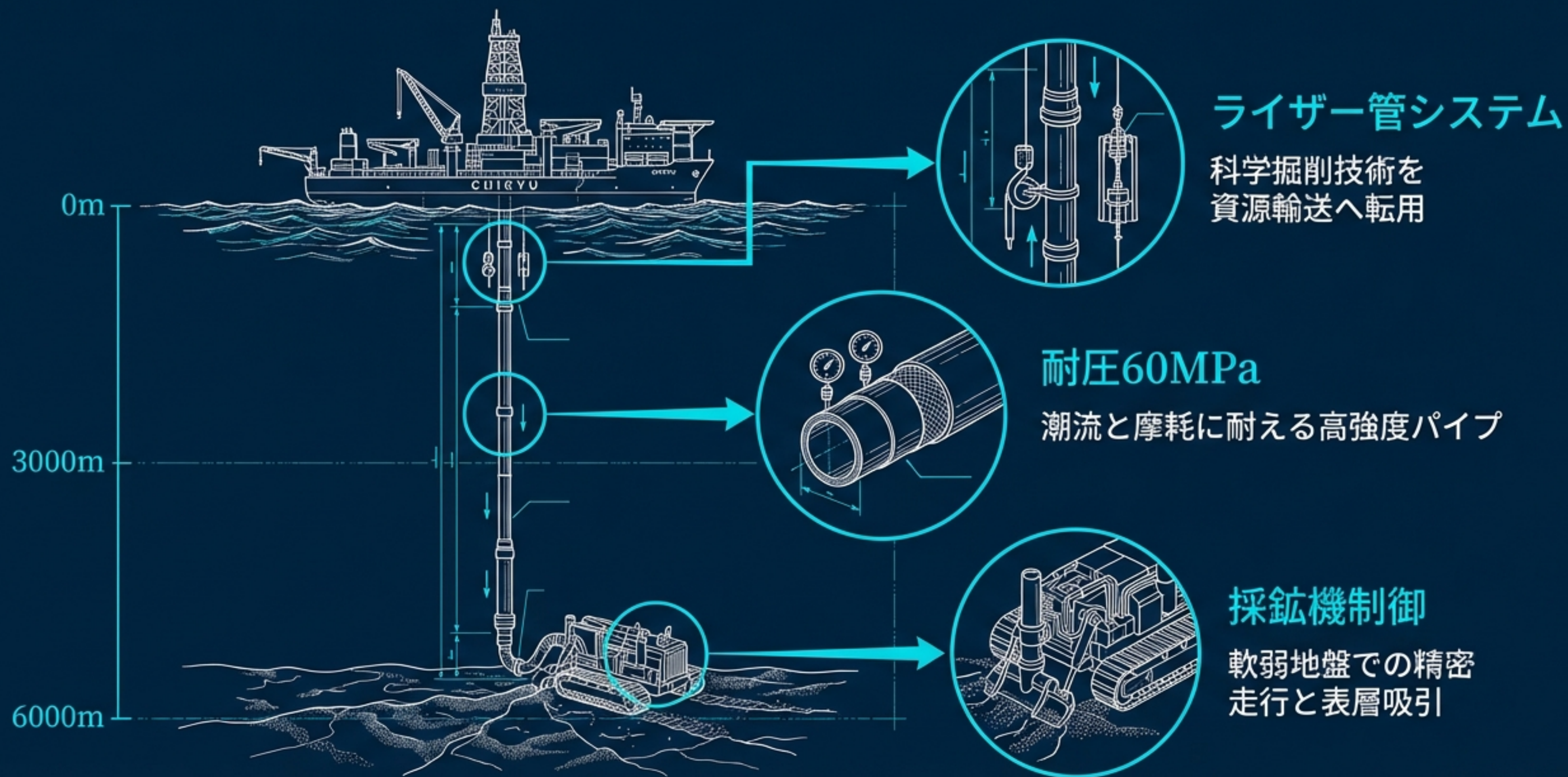
重レアアース豊富 (Dy, Tb)

⬆ 戦略的希少性：高

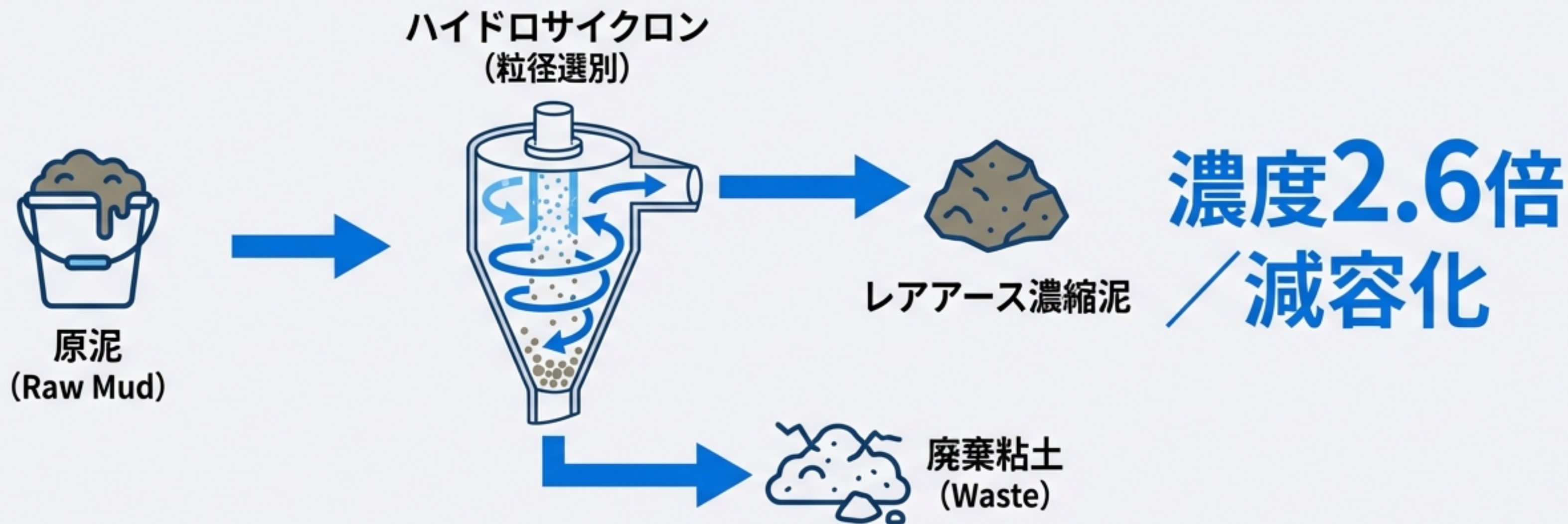
陸上鉱山とは異なり、南鳥島の泥は耐熱磁石に不可欠なジスプロシウム (Dy) やテルビウム (Tb) を豊富に含みます。これらはEVや洋上風力の性能を決定づける元素であり、この資源の確保はハイテク覇権競争における「勝者のチケット」となります。



「6,000メートルの壁」を克服した極限エンジニアリング。



商業化の鍵、「ハイドロサイクロン」によるコスト革命。



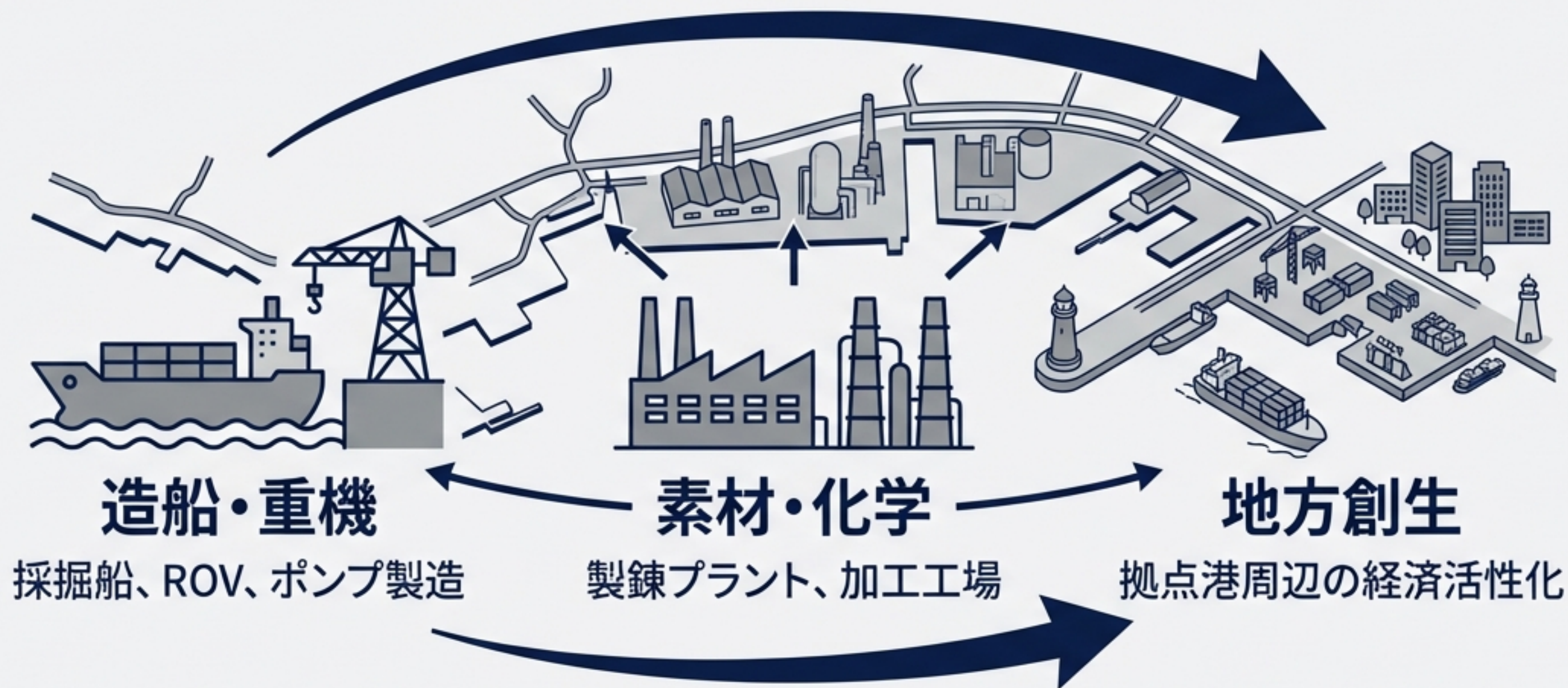
コストの壁であった「不要な泥の引き上げ」を、粒径選別技術で解決。レアアースを多く含む粒子だけを選別・濃縮することで、中国鉱山の20倍に匹敵する高品位化を品位化を実現。深海採掘の経済的ハンディキャップを相殺します。

貿易赤字の縮小と円の安定化。



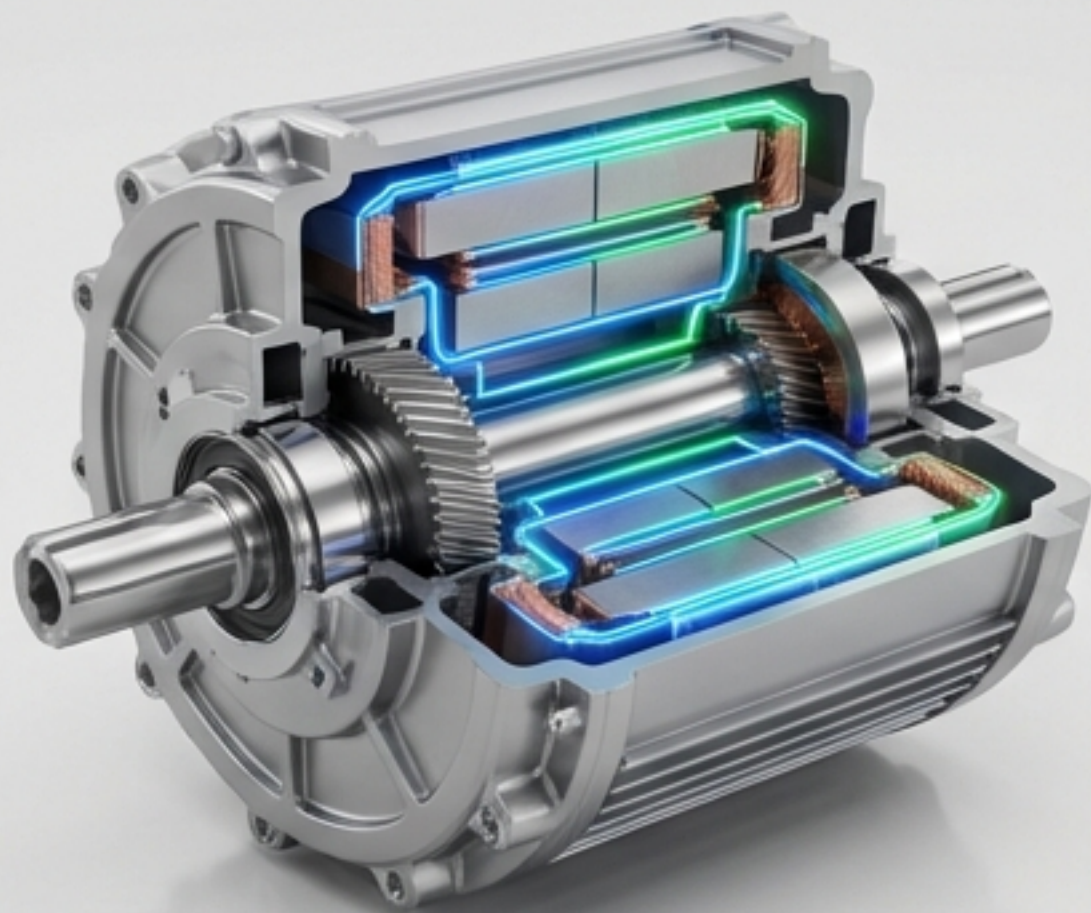
年間数千億円規模の輸入代替効果に加え、ドル建て資源市場の影響を受けない安定した調達構造を実現します。

新たな成長エンジン「海洋産業クラスター」。



南鳥島プロジェクトは単なる採掘にとどまらず、造船、プラント建設、物流を含む巨大な産業エコシステムを形成します。

EVと洋上風力の「心臓部」を守る。



自動車産業 (Automotive)

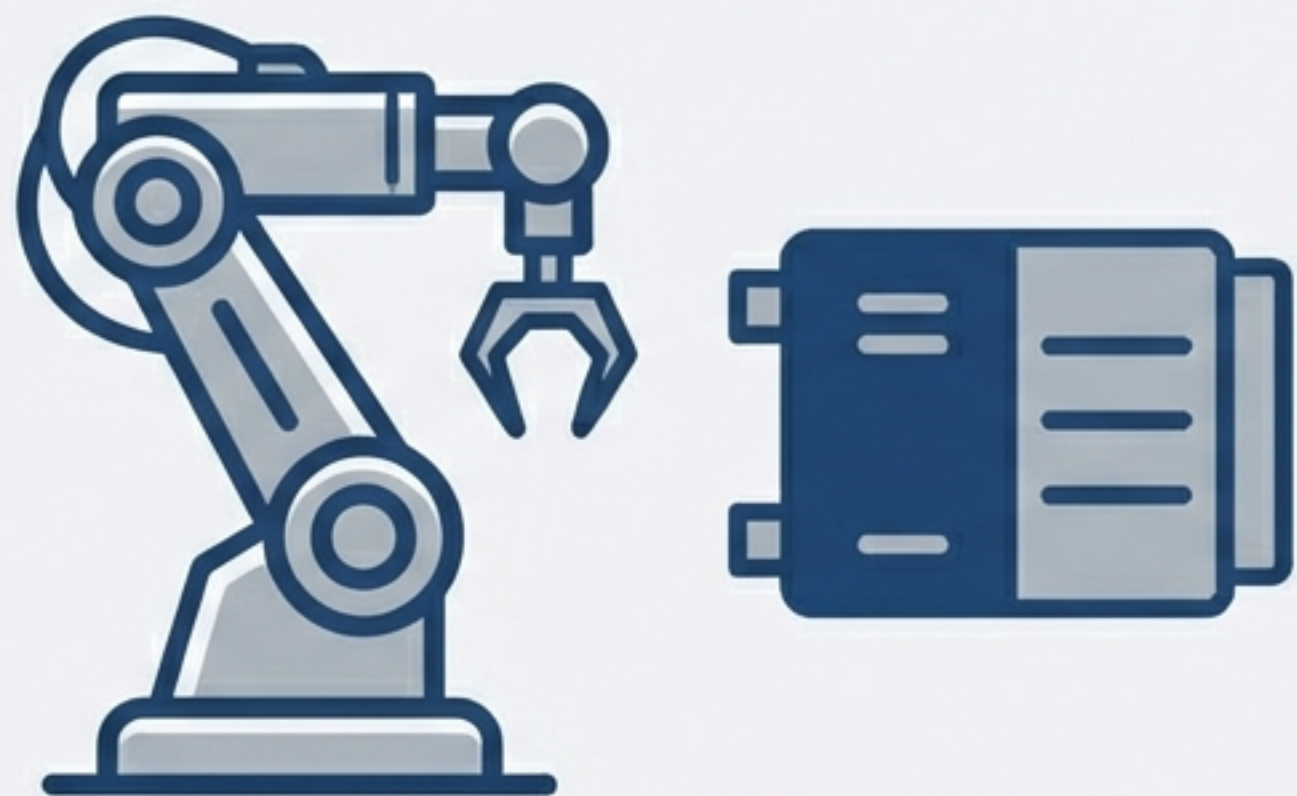
高性能磁石の安定調達により、無理な「脱レアアース設計」から解放され、グローバル競争力を維持。



風力発電 (Wind Power)

資源価格リスクの低減により、長期的なプロジェクトファイナンスを安定化。

技術的優位性と戦略的自律性の確保。



ロボット・FA

サーボモーターの性能維持により、世界シェアトップの座を死守。



防衛・安全保障

ミサイル誘導、レーダー等の最先端装備品の国内基盤強化。日米同盟への戦略的貢献。

商業化へのハードルと解決の方向性。

経済性 (Economics)



初期投資(CAPEX)と運営コスト(OPEX)のバランス。2027年実証での採算性証明が必須。

環境 (Environment)



深海生態系への配慮（ブルーム対策）と、国際的な環境基準への適合。

製錬 (Smelting)



「ミッシングリンク」である国内製錬・分離設備の欠如。金属化プロセスの国内整備が急務。

実証から商業化へ。次のマイルストーン。

2026 Feb



連続揚泥成功
(完了)

2027



大規模実証試験
日産350トン / 採算性証明

2030s Early



商業生産開始
民間主導による本格稼働

「待ち」の姿勢はリスク。 能動的なサプライチェーン再構築を。

確保 (Secure)

オフテイク契約や
コンソーシアムへの
早期参画検討。

価値化 (Value Creation)

「責任ある資源（非
中国産・環境配慮）」
としてのトレーサ
ビリティ活用。

R&Dシフト (R&D Shift)

省レアアースから
「循環（リサイク
ル）×国産」のハイ
ブリッド戦略へ。

「希望の泥」を現実の富へ。

南鳥島プロジェクトは単なる資源開発ではなく、日本の産業競争力を次世代へ繋ぐ架け橋です。
南鳥島プロジェクトは単なる資源開発ではなく、日本の産業競争力を次世代へ繋ぐ架け橋です。
産官学の総力戦で、世界最先端の「サステナブル・マイニング」モデルを確立しましょう。

RESOURCE AUTONOMY 2030